

《立科町》 立科町町民活動センター

〔センターの基本事項〕

所在地	〒384-2305 北佐久郡立科町大字芦田2523		
電話 F A X	0267-56-1825	0267-56-3815	
電子メール	shakyou@town.tateshina.nagano.jp		
HPアドレス	—		
職員数	正規	—	嘱託
	臨時	1名	その他
開所日と時間	平日 8:30～17:15 土日祝		
情報誌	ゆい 年4～5回発行		
来所者数	—		

〔センターの運営方針・指針等〕

「町民一人ひとりの笑顔が輝く町」をめざし、地域で取り組むボランティア活動を推進・支援する。そして住みよいまちづくりに取り組み、あたたかい社会の実現を共に進める。

〔センターの拠点整備〕

活動場所の提供	<input type="radio"/>	無料、対象者：センター登録者・団体
フリースペースの設置	<input type="radio"/>	テーブル、イス、お茶、情報版、各種パンフレット
資機材等の貸出	<input type="radio"/>	コピー機（用紙持参で無料）
福祉体験器具等の貸出	—	
登録グループの専用ポストの設置	—	
情報掲示板・チラシ提供スペースの設置	<input type="radio"/>	

〔ボランティアセンター運営委員会〕

組織の有無	有	規約	有
名称	町民活動センター運営委員会		
委員構成	町内ボランティア団体代表、個人ボランティア代表		
事業への関わり	町民活動センター主催のイベントの企画・協力		
工夫点	—		
課題点	—		

〔ボランティア連絡協議会〕

組織の有無	無	規約	無
名称	—		
協議会構成	—		
工夫点	—		
課題点	—		

〔財源〕

人件費	独自財源	—
	共同募金	—
	委託料・補助金	—
	民間助成金	—
	その他	<input type="radio"/>

事業費	独自財源	<input type="radio"/>	会費
	共同募金	—	
	委託料・補助金	<input type="radio"/>	社協より補助金
	民間助成金	—	
	その他	<input type="radio"/>	寄付金

〔事業計画・センター運営等について〕

○事業計画について 毎年度の事業計画について、どのように計画を立案していますか？		運営委員会や連絡協議会等の意見を集約し計画を立案している。
○センターにおける中長期計画について 独自の中長期計画・アクションプラン等を作成していますか？		—
○アドバイザー等について センターの運営や事業実施に関して、アドバイザー等の助言者はいますか？		—
○社協VC以外の中間支援機関について 社協が運営するVCとは別に、他団体が運営する中間支援機関が地域内にありますか？		—
○連携するNPOや関係機関について VCの事業・運営において連携・協働しているNPOや関係機関等がありますか？		
連携・協働先		連携・協働内容
—		—
—		—
—		—
○センターの強みと弱みについて		
《強み》 ・様々な団体からメンバーが集まるので、多様な意見が聞ける。 ・それぞれの得意分野を持ち寄って、イベントなどの企画に生かせる。		《弱み》 ・それぞれの役員の熱意に温度差があり、足並みが揃わない時がある。

○VC見取り図

○他市町村社協ボランティアセンターについて センター運営や事業実施に関して、他市町村社協VCに聞いてみたいことや知りたいことなど

ボランティアセンターの重点事業について

事業名	国道 1 4 2 号ゴミ拾い	
目的	町の中をきれいにしよう！ 町の景観の保持と町民の意識の向上を目指す。	
開催頻度	4月～11月（毎月1回・年7回開催）	
内容	国道 142 号の立科町分のゴミ拾い 町民一般に呼びかける。	
対象者	町民全員	
企画のポイント 事業成果	ゴミ拾いを続けて約 20 年になる。昔に比べて全体的にゴミの数が少なくなった。 ゴミ拾いの最中、通り過ぎる人達が声をかけてくれるようになった。（活動に関心を持ってくれるようになった）	
参加者の声や その後の動き など	国道 142 号だけではなく、町道や県道でもゴミ拾いをしてはどうかとの声がある。	
事業の様子		
事業の様子の写真等を 添付してください	事業の様子の写真等を 添付してください	

ボランティアセンターの重点事業について

事業名	町民活動センター活動発表会&交流会	
目的	年1回、ボランティアが集える場所をつくる。 それぞれがボランティアについて考え、また、今後の町民活動センターの活動の方向性について、ボランティアの視点から考える。	
開催頻度	年1回	
内容	町内で活動するボランティア団体が日頃のボランティア活動について発表する。 また、町内のボランティアが一同に会する場なのでボランティア同士の交流になる。 引き続き行われる情報交換会（交流会）で現状の課題や「次年度はこうしたい」などの希望・要望を出してもらう。	
対象者	町内ボランティア活動者	
企画のポイント 事業成果	平成21年度の交流会で要望があった「集える場所、喫茶室」に応え、平成22年度事業で「うたごえ喫茶室」を開催。60名以上の利用があり、好評だった。 平成22年度も発表会を行ったので、次年度も続けていきたい。	
参加者の声や その後の動き など	ニーズに合う活動を行っていくためにも、毎年開催し、ボランティアの声を取り入れるのが必要との声がある。 喫茶室に関しては、「話せる場ができてうれしい。楽しかった」など好評だった。「来年も開催してほしい」との声がある。	
事業の様子		
	事業の様子の写真等を 添付してください	事業の様子の写真等を 添付してください